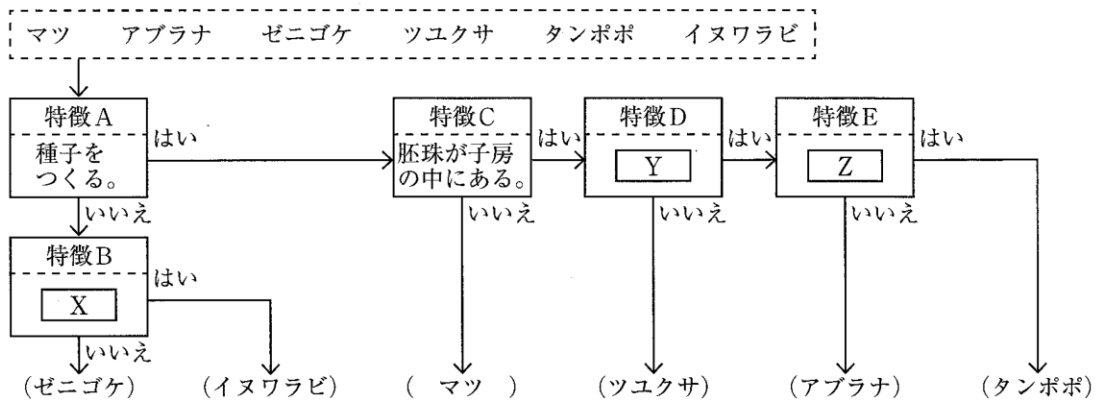


- 1 次の図は、マツ アブラナ ゼニゴケ ツユクサ タンポポ イヌワラビの中の6種類の植物を、特徴A～Eにあてはまる場合は「はい」、あてはまらない場合は「いいえ」で答えていくことで分類したものです。これについて、あとの問いに答えなさい。



- (1) 図の特徴Aにあてはまらないゼニゴケとイヌワラビは、種子のかわりに何をつくってなまをふやしますか。名称を答えなさい。
- (2) 図の X の特徴には、次のいずれかの特徴が1つあてはまります。どの特徴があてはまりますか。記号で答えなさい。
- ア 株には雌株と雄株がある。
- イ 葉、茎、根の区別がある。
- ウ 地面などにからだを固定する仮根がある。
- エ 花には雌花と雄花がある。
- (3) 図で、種子をつくる植物を特徴Cによって分類するとき、マツのなまを何植物といいますか。名称を答えなさい。
- (4) 図の Y、Z の特徴には、次のいずれかの特徴が1つずつあてはまります。どの特徴があてはまりますか。それぞれ選び、記号で答えなさい。
- ア 子葉が1枚である。
- イ 葉脈が網目状(網状脈)である。
- ウ 花卉のもとがくつついた花を咲かせる。
- エ 果実をつける。
- (5) 次のうち、図の①イヌワラビ、②ツユクサ、③タンポポと同じなまに分類される植物はどれですか。それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
- ア ユリ イ スギゴケ ウ ツツジ
- エ ナズナ オ ゼンマイ カ ソテツ

(2) アとウはゼニゴケだけにあてはまる特徴です。エについて、ゼニゴケもイヌワラビも花を咲かせません。

(3)(4) 特徴Cは種子植物を裸子植物(マツ)と被子植物(ツユクサ、アブラナ、タンポポ)に分類します。特徴Dは被子植物を単子葉類(ツユクサ)と双子葉類(アブラナ、タンポポ)に分類するので、双子葉類のもつ特徴(イ)があてはまります。特徴Eは双子葉類を花卉が離れた花(離弁花)を咲かせるアブラナと、花卉のもとがくつついた花(合弁花)を咲かせるタンポポに分類するので、タンポポのもつ特徴(ウ)があてはまります。

(5) 図のように分類すると、スギゴケ(イ)はゼニゴケのなま、ナズナ(エ)はアブラナのなま、ソテツ(カ)はマツのなまに分類されます。

(1)	ほうし 胞子			
(2)	イ	2		
(3)	らし 裸子			植物
(4)	Y	イ	Z	ウ
		完答		4
(5)	①	オ	②	ア
		完答		③
				ウ
				5